

2007年8月16日
株式会社 アサツー ディ・ケイ
取締役社長 長沼 孝一郎
東証第1部 コード番号:9747

ADK 子会社の再編と

新たなマーケティングサービスを提供する「ADK ダイアログ」の発足について

株式会社アサツー ディ・ケイ(以下 ADK)は、このほど、ADK グループ内の連結子会社1社と非連結子会社1社の再編を決定いたしましたのでお知らせいたします。平成20年1月1日付で再編を実施し、ダイレクトおよびリレーションシップマーケティングを融合させた独自のサービスを提供する「株式会社 ADK ダイアログ」を発足させます。

再編の対象となるのは、連結子会社で広告業務を手がける、株式会社トライコミュニケーション(社長:橋本暁治 資本金:1億円 社員数:47名、以下トライコミュニケーション)、および非連結子会社でリレーションシップマーケティングサービスを提供する、株式会社モティベーションマーケティング(社長:北川武夫 資本金:3,000万円 社員数:11名、以下モティベーションマーケティング)です。

再編において、まずトライコミュニケーションから DRM(Direct Relationship Marketing)事業部門を分割し、それをモティベーションマーケティングが承継すると同時に、新会社名を「株式会社 ADK ダイアログ」(以下 ADK ダイアログ)と変更します。またトライコミュニケーションは、DRM 事業以外の部門を継続させ人的資源を集中させることで、本来の広告業拡大を図ります。

ADK ダイアログは、トライコミュニケーションの強みであるダイレクトマーケティングと、モティベーションマーケティングが培ってきたリレーションシップマーケティングをシームレスに融合させ、ダイレクトレスポンスや CRM(Customer Relationship Management)ビジネスの価値を高める、新しいマーケティングサービス「ダイアログマーケティング」を事業の中核とする会社です。

従来のダイレクトマーケティングは、“顧客とメーカーの直接的な”、あるいは“1対1の”という考えをベースとしていました。これに対し、「ダイアログマーケティング」では顧客だけではなく、サプライヤー、メーカーの販売担当従業員などブランドを取り巻く全てのステークホルダーとの対話を促進することで、よりよい関係を構築し、“共感創造によるビジネスおよびブランド価値の増大”を目的としています。

今回の ADK ダイアログの発足は ADK グループ全体が提供する 360° のコミュニケーションにおいて、最新で、より高いクオリティのサービス提供を実現するための戦略的な取り組みのひとつであります。

ADK ダイアログ社長には現 ADK ダイレクトコミュニケーション本部の風間聖二が就任し、ADK 本体とのシナジーの実現も目指し、資本金は 8,000 万円、社員数は 30 名で、初年度の売上高は 18 億円を見込んでいます。なお、当社グループの当期の連結業績へ与える影響はありません。また、来期連結業績へ与える影響は軽微であります。

■ 再編後の 2 社の概要

<「株式会社 ADK ダイアログ」>

社名： 株式会社 ADK ダイアログ（英文名：ADK Dialog, Inc.）
効力発生日： 平成 20 年 1 月 1 日
資本金： 8,000 万円
所在地： 〒104-0045 東京都中央区築地四丁目 1 番 1 号
従業員数： 30 名(平成 20 年 1 月 1 日予定)
売上高： 18 億円(平成 20 年 12 月期見込み)
代表者： 代表取締役社長 風間 聖二
(現： ADK ダイレクトコミュニケーション本部長補佐)
業務内容： ダイレクトマーケティングとリレーションシップマーケティングを融合させた独自のマーケティングサービス「ダイアログマーケティング」が特長
ダイレクトレスポンスや CRM ビジネスを行うクライアントをサポートし、その事業価値を高めるサービスを提供する

<「株式会社 トライコミュニケーション」>

社名： 株式会社 トライコミュニケーション（英文名：TRI Communication, Inc.）
効力発生日： 平成 20 年 1 月 1 日
資本金： 5,000 万円
所在地： 〒104-0045 東京都中央区築地四丁目 1 番 1 号
従業員数： 30 名(平成 20 年 1 月 1 日予定)
売上高： 22 億円(平成 20 年 12 月期見込み)
代表者： 代表取締役社長 橋本 暘治
業務内容： 総合広告業

本件に関する問い合わせ先は下記までお願いします
社長室 広報グループ 矢島・轟
TEL: 03-3547-2003